年　　　　　　月　　　　　　日　提出

教育施設番号　　　　　　　　　　　　　　　　　□ 新規申請　　□ 更新申請　　□ 区分変更申請

申請する施設区分 □教育施設　　　□准教育施設

医療施設名（カナ）

 （漢字）

住所　〒

ＴＥＬ　　 　　　　　　　　　　　　FAX

**指導管理責任者　（神経病理学会代議員1名）※教育施設、准教育施設は常勤の指導医とする。**

氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　所属・役職　　　　　　　　　　E-mail

**I．神経病理教育指導者とスタッフの現状（**教育指導が可能な医師、技術員）

**診療科・部門**□神経病理□病理□神経内科　□脳神経外科　　□精神科　□小児神経科

　　　　　　　　　　　　　　□その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**指導医（日本神経病理学会評議員あるいはこれに準ずる代表者）およびスタッフの現状**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏　　名 | 所属・役職 | 常勤/非常勤 | 他学会の専門医・指導医・屍体解剖資格 |
| 1 |  |  | 常勤/非常勤 |  |
| 2 |  |  | 常勤/非常勤 |  |
| 3 |  |  | 常勤/非常勤 |  |
| 4 |  |  | 常勤/非常勤 |  |

**II．施設の概要**

１，施設分類（該当項目をチェック）

（１）病院　 医学部（医科大学）附属病院： □国立大学法人　　□公立大学（法人）　□私立大学

　　 医学部以外の大学附属病院： □歯学部　　□保健学部・医療関係の大学　　□その他

大学病院以外：　　 □国立病院　　□国立病院機構　　□公立病院

□公的病院（日赤，済生会，厚生連など）　　□民間病院

　（２）研究施設　　　　　　　　　　　　　　　　 □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**III．神経病理の実績　　　　＊2019年1月1日より2023年12月31日までの5年間**

1. 剖検数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 総剖検数 | 総剖検数中の神経疾患剖検数と内訳 |
| 2019 |  |  |
| 2020 |  |  |
| 2021 |  |  |
| 2022 |  |  |
| 2023 |  |  |

B.　脳・脊髄の外科病理診断数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 脳・脊髄の外科病理診断数 | 疾患の内訳 |
| 2019 |  |  |
| 2020 |  |  |
| 2021 |  |  |
| 2022 |  |  |
| 2023 |  |  |

C. 5年間の筋生検・末梢神経生検の診断数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 筋生検・末梢神経生検の診断数 | 疾患の内訳 |
| 2019 |  |  |
| 2020 |  |  |
| 2021 |  |  |
| 2022 |  |  |
| 2023 |  |  |

**IV．研修カリキュラム**

 □施設単独での認定医養成の研修カリキュラムがある（1. に記載）

 □他の施設と連携で行う研修カリキュラムがある（2. に記載）

1.　単一施設での研修カリキュラム

□剖検　　　　　　　　　　　　　研修可能症例数**（　　　　　　）**例／年

□外科病理　　　　　　　　　　研修可能症例数**（　　　　　　）**例／年

□筋生検・末梢神経生検　　研修可能症例数**（　　　　　　）**例／年

2.　 複合型研修カリキュラム

（1）代表施設名

　　代表**指導管理責任者**　　氏名　　　　　　　　　　　　　所属・役職

（2）　連携施設名

　　指導医　氏名　　　　　　　　　　　　　所属・役職　　　　　神経病理学会員の有無　□会員□非会員

担当領域　　□剖検　□外科病理　□筋生検・末梢神経生検

　　剖検　　　　　　1年間の平均実績（　　）　例／年,　研修可能症例数**（　　　　　　）**例／年

　　外科病理　　　1年間の平均実績（　　）　例／年,　研修可能症例数**（　　　　　　）**例／年

筋生検・末梢神経生検　1年間の平均実績（　　）　例／年,　研修可能症例数**（　　　　　　）**例／年

連携施設の5年間の実績　複数の連携施設がある場合は、A，B，Cの表を適宜追加してください.

　　A．5年間の剖検数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 総剖検数 | 総剖検数中の神経疾患剖検数と内訳 |
| 2019 |  |  |
| 2020 |  |  |
| 2021 |  |  |
| 2022 |  |  |
| 2023 |  |  |

B.　5年間の脳・脊髄の外科病理診断数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 脳・脊髄の外科病理診断数 | 疾患の内訳 |
| 2019 |  |  |
| 2020 |  |  |
| 2021 |  |  |
| 2022 |  |  |
| 2023 |  |  |

C.5年間の筋生検・末梢神経生検の診断数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 筋生検・末梢神経生検の診断数 | 疾患の内訳 |
| 2019 |  |  |
| 2020 |  |  |
| 2021 |  |  |
| 2022 |  |  |
| 2023 |  |  |

（3）　連携施設名

　　　指導医　氏名　　　　　　　　　　　　　　所属・役職　　　　神経病理学会員の有無　□会員　□非会員

　　　　　　　　担当領域　□剖検　□外科病理　□筋生検・末梢神経生検

　　　　　　　　1年間の平均実績（　　）　例／年,　研修可能症例数**（　　　　　　）**例／年

（4）　連携施設名

　　　　指導医　氏名　　　　　　　　　　　　　　所属・役職　　　　神経病理学会員の有無　□会員　□非会員

　　　　　　　　　担当領域　　□剖検　□外科病理　□筋生検・末梢神経生検

　　　　　　　　　1年間の平均実績（　　）　例／年,　研修可能症例数**（　　　　　　）**例／年

（5）　連携施設名

　　　　指導医　氏名　　　　　　　　　　　　　所属・役職　　　　神経病理学会員の有無　□会員　□非会員

　　　　　　　　　担当領域　□剖検　□外科病理　□筋生検・末梢神経生検

　　　　　　　　　1年間の平均実績（　　）　例／年,　研修可能症例数**（　　　　　　）**例／年

　　　　　不足する場合は追加してください。

　（6）複合型研修カリキュラムにより十分な研修が行える理由

　4.　1年間に研修受入可能な人数とその身分

　　　　　　　　　人数（　　）　例／年　　身分（　　　　　　　　　　　）（大学院生、後期研修医など）